

ちょうご 見守りネットワーク

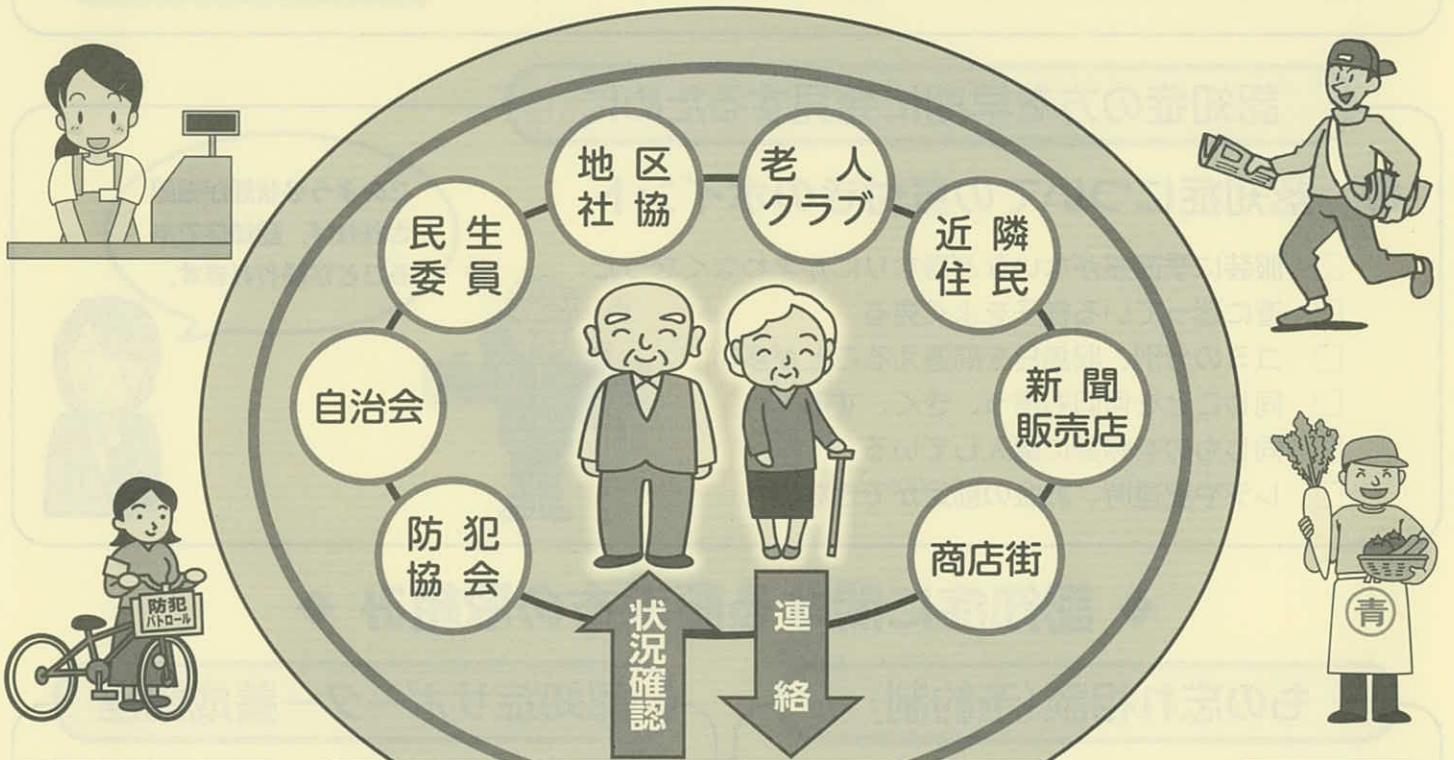
通

信

●2014年10月1日発行 ●長後いきいきサポートセンター(地域包括支援センター) ●電話：0466-45-1121

はじまっています！高齢者の見守りネットワーク

ちょうご見守りネットワークとは、地域の皆さんが、日常生活や仕事において高齢者の方のちょっと気がかりなことに気づいたときに、長後いきいきサポートセンターに連絡していただくことで、高齢者をゆるやかに見守っていくものです。



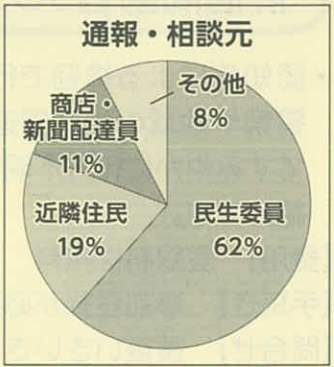
今年の4月から長後地域包括支援センターには、「いきいきサポートセンター」という愛称がつけました。

長後いきいきサポートセンター
電話：0466-45-1121
(長後市民センター内)

藤沢市
連携

1月から8月の通報・相談件数は26件でした

今年1月から8月までの間に、高齢者の見守りや安否確認について長後いきいきサポートセンターに寄せられた通報や相談は、全部で26件でした。連絡・相談者で一番多いのは民生委員の方からですが、最近は商店街や民間事業者からの連絡も増えています。相談内容は、「新聞がたまっているお宅があり心配」、「ゴミ出しが出来ない近所の方がいる」など、一人暮らしに関するもの、認知症に関するもの、安否確認などです。



◆ ◆ 認知症の人が安心して暮らせるまちに ◆ ◆

長後いきいきサポートセンターに寄せられる相談の中で、最近、増えているのが認知症についてです。「母親の物忘れが増えてきて心配」とか、「言っている事がちぐはぐなお客さんがいる」等のご相談や通報が連日寄せられます。

認知症は、その原因となる病気を治すことで治る場合もありますし、薬で症状が緩和されることもありますので、早期に発見し、診断につなげることが大事になります。

特に、お一人暮らしの高齢者の場合、認知症になっても気づかれずに生活が困難となり、症状が悪化してしまうことがあります。

支援や治療につなげていく為にも、周囲の気づきがとても大切です。

長後地区データ (H26.9.1)

- 長後地区人口 32,545人
- うち高齢者(65歳以上) 8,278人
- 認知症で日常生活に支障がある方 約600人

認知症の方を早期に発見するために

● 認知症についての気づきのポイント

- 服装に季節感がないなど身なりにかまわなくなった
- 道に迷っている様子をよく見る
- ゴミの分別、収集日を間違えることが多い
- 同じことを何回も言う、きく、する
- 同じものを頻繁に購入している
- レジや配達時、お金の勘定ができない



このような状態が確認されれば、認知症であることが疑われます。



◆ 認知症に関する藤沢市の取組み ◆

もの忘れ相談(予約制)

もの忘れ相談・検査(無料)

【問合せ】 藤沢市保健所 保健予防課

Tel: 50-3593

認知症サポーター養成講座

- ・認知症サポーター養成講座を受講した人が「認知症サポーター」です。
- ・認知症サポーターは何か特別なことをする人ではなく、認知症を正しく理解し、地域の中で認知症の人やその家族を温かく見守る応援者です。

【内容】：認知症に関する基礎知識や接し方等を学びます。(1~2時間)

【費用】 無料

受講された方にはオレンジリングを差し上げます。



【問合せ】 長後いきいきサポートセンター

徘徊高齢者SOSネットワーク

- ・認知症による徘徊で行方不明になった場合、警察や地域の生活関連団体が捜索に協力してすみやかに行方不明者を発見、保護する取り組みです。

【費用】 登録料は無料

【手続き】 事前登録が必要です。

【問合せ】 長後いきいきサポートセンター